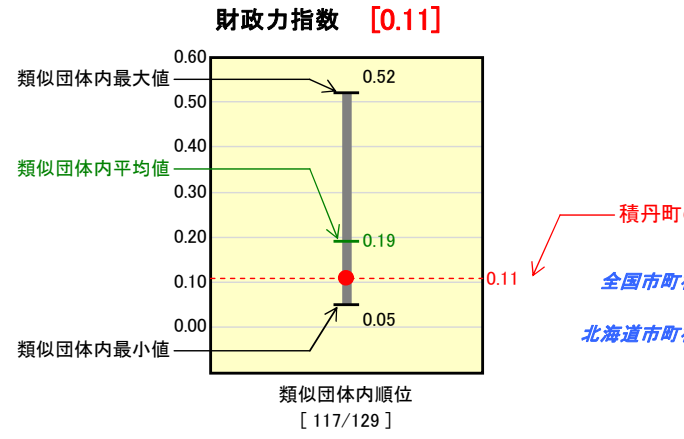


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

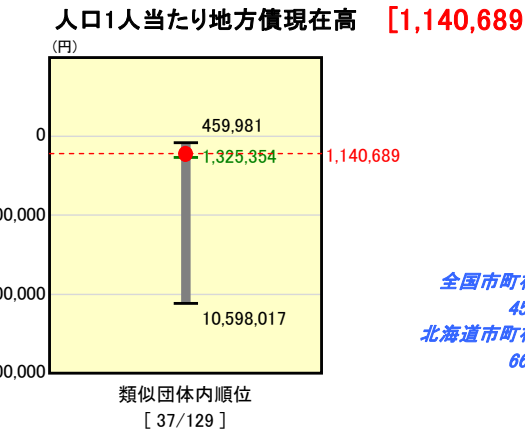
北海道 積丹町

人口	2,936人	(H19.3.31現在)
面積	238.20	km ²
歳入総額	2,694,356	千円
歳出総額	2,599,808	千円
実質収支	94,548	千円

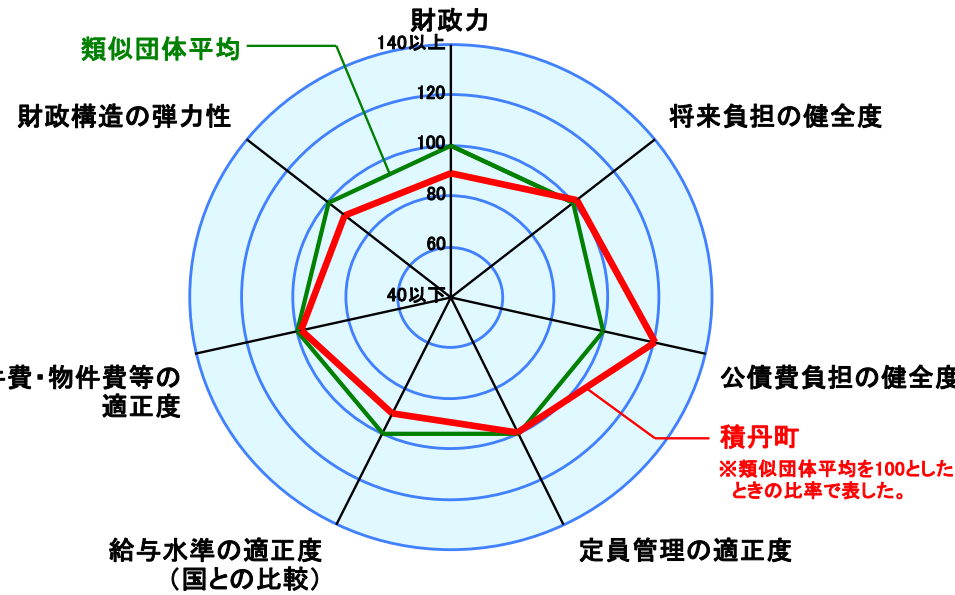
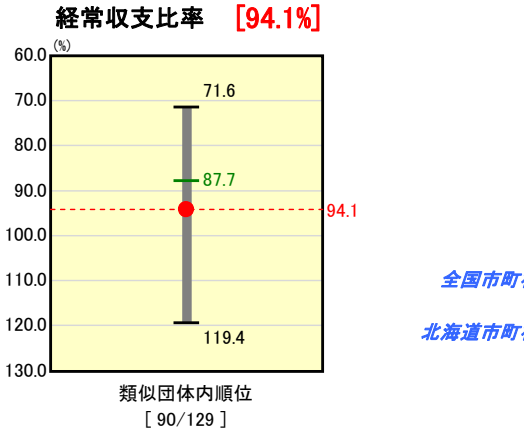
財政力



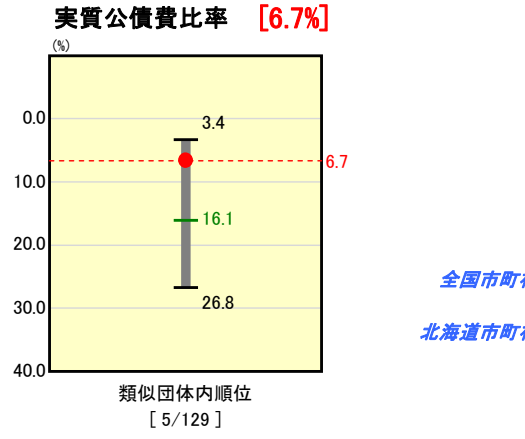
将来負担の健全度



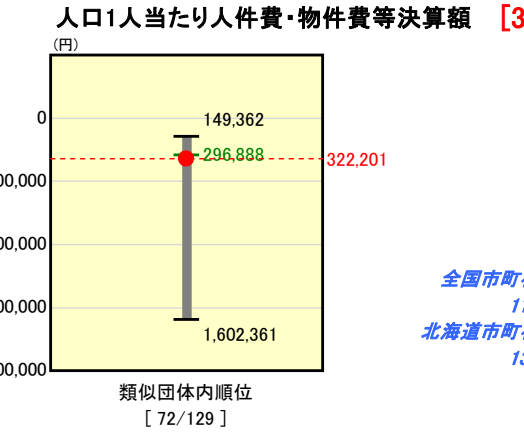
財政構造の弾力性



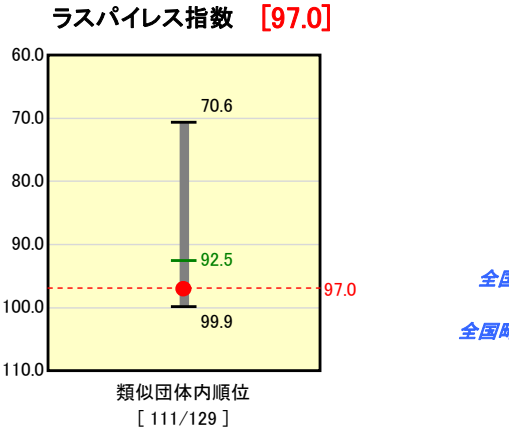
公債費負担の健全度



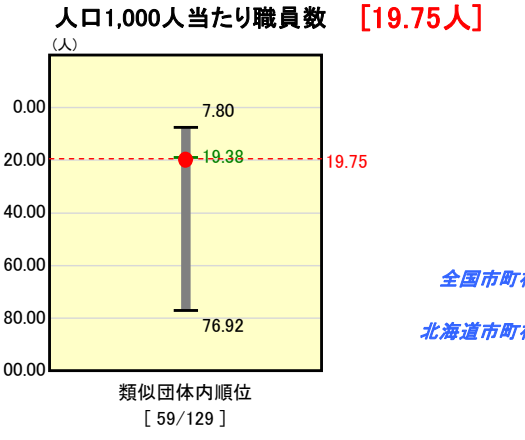
人件費・物件費等の適正度



給与水準の適正度 (国との比較)



定員管理の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成20年1月末39.3%)に加え、町内に中心となる産業がないため、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。現在、行財政改革の実施中であり、このなかで120項目以上の事務事業について行政の効率を図り、財政の健全化を図っている。

経常収支比率: 類似団体平均より悪化しているものの、昨年度より2.7ポイント改善した。この要因としては歳入に占める経常一般財源等は微減であったが、歳出における経常充当一般財源が行財政改革等の効果や少雪の影響による除雪費の減少があり、前年度から74,229千円減額したためである。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均を若干上回っているが、前年度より1人当たり16,392円の改善があった。この要因は経常収支比率のとおりだが、当町の特徴として人件費では保育所を直営で運営していること。物件費では学校等の施設が多いことが類似団体を上回る基礎要因となっている。また、一部事務組合の人件費や物件費等に充てる負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は更に増加するため、今後はこれらも含めた経費について、抑制していく必要がある。

ラスパイレース指数: ラスパイレース指数は国の基準を下回っているが、類似団体より高い状況になった。これは職員の分布構成が年齢層が高く給料水準も高い職員が多い影響が強いと考えられるが、平成19年度から平均で12%の給料削減を実施しており、今後は大幅な低下が見込まれる。また、ラスパイレース指数に反映されない各種手当については、特殊勤務手当の廃止、期末勤勉手当の支給率削減(国=4.45月→当町=3.7月)、期末勤勉手当の役職加算率の削減(国=役職に応じて15・10・5%→当町=平成21年度までに3・2・1%へ)などを実施しており、職員1人当たりの実支給額は国よりも大きく低い水準と考えられる。

人口1,000人当たり職員数: 類似団体と同程度に属しており、行政効率是比较的高いものと考えられる。集中改革プランにおける定員管理の目標数値としては、平成19年4月1日で70人の職員数を平成22年には66人とすることを予定している。

実質公債費比率: 平成15年度に5億4千万円の繰上償還を実施し、公債費の抑制に努めた。今後は、逼迫している財政状況を踏まえ、起債発行に依存しない行政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体を下回っており、今後も大型事業については十分に検討し、実施するよう努める。